



アクサ生命保険株式会社

特別勘定マンスリーレポート

特別勘定の現況

ユニット・リンク(有期型)
ユニット・リンク保険(有期型)
リバティ(終身型)/リバティ(有期型)
変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

2022年1月

当資料は、変額保険(終身型および有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)における各特別勘定のユニット・プライスの推移を示したものです。なお、当資料中の運用実績に関するグラフ及び数値は、あくまで過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注)変額保険(終身型)、変額保険(有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)は現在販売していません。

この資料の内容は当社のホームページでもご覧になれます。
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

『ご留意いただきたい事項』

■当資料の目的

当資料は、アクサ生命が「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■生命保険です

「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

■運用実績に応じて変動します

「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動(増減)する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

■元本割れリスク、最低保証について

「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が増減(増減)する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

■特別勘定資産と投資信託の運用実績について

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

■自己責任原則

特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うこととなります。

■ユニットプライスとは

ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

■ご検討・ご契約に際して

「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されているとおりになりますのでお確かめください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

■特別勘定は、追加されることがあります

特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

■ご契約にかかわる諸費用

この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。

これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

(注)「変額保険(終身型)」、「変額保険(有期型)」および「ユニット・リンク保険(有期型)」は現在販売していません。

1. 特別勘定の運用概況

・特別勘定の運用方針

(特別勘定名)	(運用方針)
日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX ^{※1})を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S&P500指数 ^{※2} を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数 ^{※3} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジなし)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス ^{※4} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジあり)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA-BPI(総合) ^{※5} 50%、FTSE世界国債インデックス(除く日本) ^{※6} 50%で加重平均した 複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型*	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA-BPI(総合短期) ^{※7} を上回る投資成果を目指します。
グローバル・バランス型	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス ^{※8} 50%、FTSE世界国債インデックス ^{※9} 50%で加重平均した 複合指数を上回る投資成果を目指します。

※1 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部の時価総額の動きをあらわす指数で、東京証券取引所が算出、公表を行っています。

※2 S&P500指数とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。

※3 MSCIヨーロッパ指数とは、MSCIインクが提供する欧州株式を包括的に表した指数です。

※4 MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※5 NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村證券株式会社が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※6 FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※7 NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年~3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※8 MSCI WORLDインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※9 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

*「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下(マイナス金利を含む)では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

2.運用環境 [2022年1月]

■ 日本株式市場

TOPIX(東証株価指数)は下落し、前月末比-4.84%の1,895.93ポイントで終わりました。上旬は上昇して始まった後、ハイテク企業を中心とした米国株式市場の下落などを受けて下落に転じました。中旬は、新型コロナウイルスの新たな変異株の感染拡大やFRB(連邦準備制度理事会)による金融引き締めへの懸念などを背景に下落しました。下旬に入ってもFOMC(連邦公開市場委員会)で金融引き締めに積極的な姿勢が示されたことやウクライナを巡る地政学リスクの高まりなどを背景に下落基調で推移しましたが、月末にかけては米国株式市場の反発などを受けて下落幅を縮小しました。前月末比では、下落しました。

日本の小型株式市場は下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は下落し、NYダウ工業株30種は前月末比-3.48%の35,131.86ドルで終わりました。上旬は上昇して始まった後、12月のFOMC議事要旨で金融引き締めに対して予想以上に積極的な姿勢が示唆されたことなどから下落に転じました。中旬も、FRBによる金融引き締めへの懸念などを背景に下落しました。下旬に入ってもFOMCで金融引き締めに積極的な姿勢が示されたことやウクライナを巡る地政学リスクの高まりなどを背景に下落基調で推移しましたが、月末にかけては大型ハイテク企業の決算が好感されたことなどを受けて下落幅を縮小しました。前月末比では、下落しました。

欧州株式市場は、前月末比、独DAX指数-2.60%、仏CAC40指数-2.43%となりました。上旬は上昇して始まった後、ハイテク株を中心とした米国株式市場の下落などを受けて下落に転じました。中旬は、ECB(欧州中央銀行)の利上げ観測が少し後退したことなどから小幅に上昇しました。下旬は、ウクライナを巡る地政学リスクの高まりなどを背景に下落した後、月末にかけてユーロ安などを背景に下落幅を縮小しました。前月末比では、下落しました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場も下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、月末には0.178%となりました(前月末0.071%)。上旬は、米長期金利の上昇などを背景に金利は上昇基調で推移しました。中旬は、日銀の金融政策正常化への思惑が高まる場面もありましたが、日銀金融政策決定会合の結果が現状維持となったことなどから金利は横ばいで推移しました。下旬は、日銀の金融政策正常化への思惑などを背景に金利は上昇基調で推移しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、月末には1.777%となりました(前月末1.508%)。上旬は、FRBが金融引き締めに対して積極的との見方が強まったことなどから金利は上昇しました。中旬に入っても、FRBによる金融引き締めへの懸念などを背景に金利は上昇基調で推移しました。下旬は、FOMCで金融引き締めに積極的な姿勢が示されたことなどから金利は上昇した後、月末にかけては、米経済指標の悪化などを背景に金利は低下(価格は上昇)に転じました。前月末比では、金利は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場では独10年国債の金利は上昇し、月末には0.011%となりました(前月末-0.177%)。上旬は、ユーロ圏でのインフレ率の上昇や米長期金利の上昇などを受けて金利は上昇しました。中旬は、米物価指標の伸びが予想並みであったことや主要国の中央銀行の金融政策正常化への懸念などが交錯して金利はほぼ横ばいで推移しました。下旬は、ウクライナを巡る地政学リスクの高まりなどを背景に金利が低下した後、月末にかけてはドイツの物価指標の予想以上の上昇などを背景に金利は再び上昇しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は円安米ドル高となり、月末は前月末比+0.42円の115.44円となりました。上旬は、米長期金利の上昇などを背景に円安米ドル高で始まりましたが、その後はリスク回避の動きなどから円高米ドル安に転じました。中旬に入っても、リスク回避の動きなどから円高米ドル安基調で推移しました。下旬は、FOMCで金融引き締めに積極的な姿勢が示されたことなどを受けて円安米ドル高に転じました。

ユーロ/円相場は円高ユーロ安となり、月末は前月末比-1.85円の128.66円となりました。上旬は、欧州長期金利の上昇などを背景に円安ユーロ高基調で推移しました。中旬は、リスク回避の動きなどから円高ユーロ安基調で推移しました。下旬に入っても、ウクライナを巡る地政学リスクの高まりなどを背景に円高ユーロ安基調で推移しました。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

3.特別勘定の運用状況 [2022年1月]

・特別勘定のユニット・プライス騰落率一覧

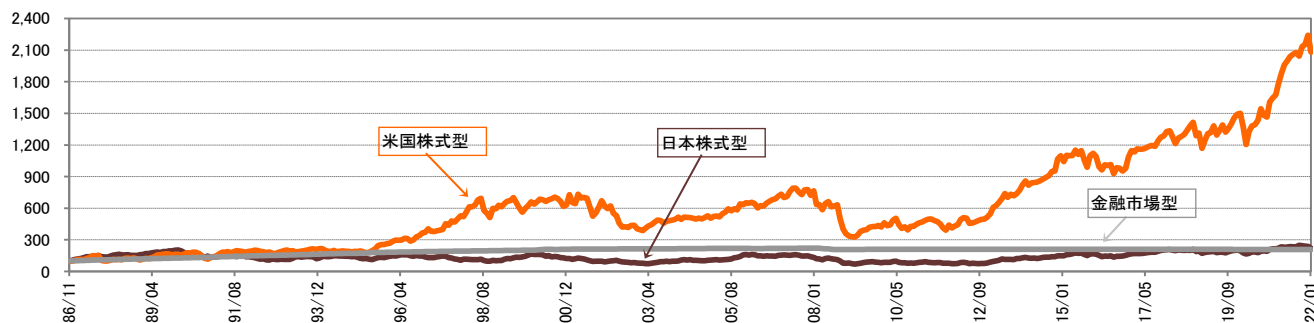
特別勘定名	運用開始日	ユニット・プライス	騰落率						
			1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
日本株式型	1986年12月1日	219.26259276	△8.03%	△10.53%	△6.11%	2.10%	21.96%	29.74%	119.26%
日本株式積極運用型	2001年5月1日	146.97874736	△7.15%	△7.70%	△0.20%	6.28%	41.98%	49.68%	46.98%
米国株式型	1986年12月1日	2,081.70922278	△7.08%	△2.42%	0.94%	24.21%	66.95%	83.61%	1981.71%
欧州株式型	1999年4月1日	267.25408791	△8.38%	△8.94%	△5.53%	9.73%	45.60%	66.92%	167.25%
世界株式型(為替ヘッジなし)	2001年5月1日	356.12651833	△5.43%	△1.99%	3.72%	25.11%	64.40%	83.85%	256.13%
世界株式型(為替ヘッジあり)	2001年5月1日	257.11304617	△5.74%	△2.80%	△0.34%	15.09%	51.63%	67.56%	157.11%
世界債券型	1999年4月1日	166.26093713	△1.02%	△1.01%	△0.67%	1.10%	5.57%	6.36%	66.26%
金融市場型	1986年12月1日	208.30842704	△0.01%	△0.03%	△0.07%	△0.17%	△0.50%	△0.82%	108.31%
グローバル・バランス型	2001年5月1日	276.46814574	△6.23%	△6.14%	△3.72%	5.68%	34.53%	46.46%	176.47%

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として指数化したものです。

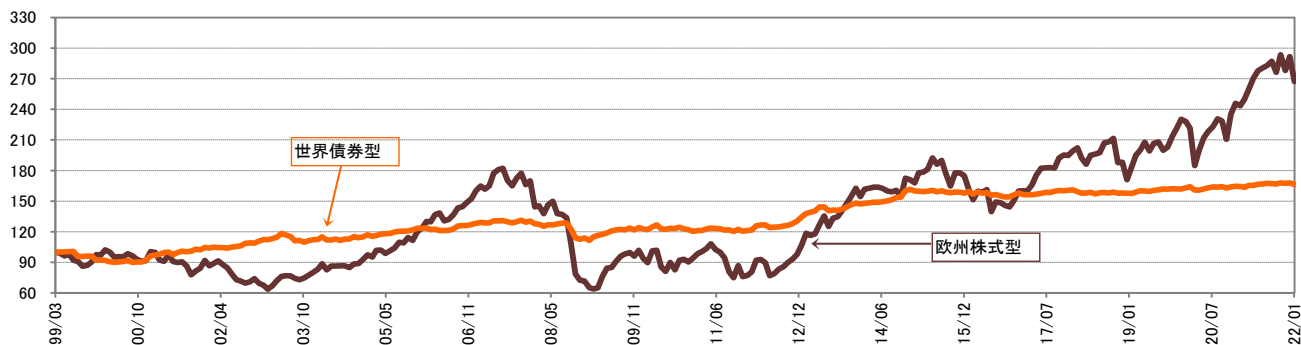
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニットプライスの変動率を表しています。

・特別勘定のユニット・プライス推移

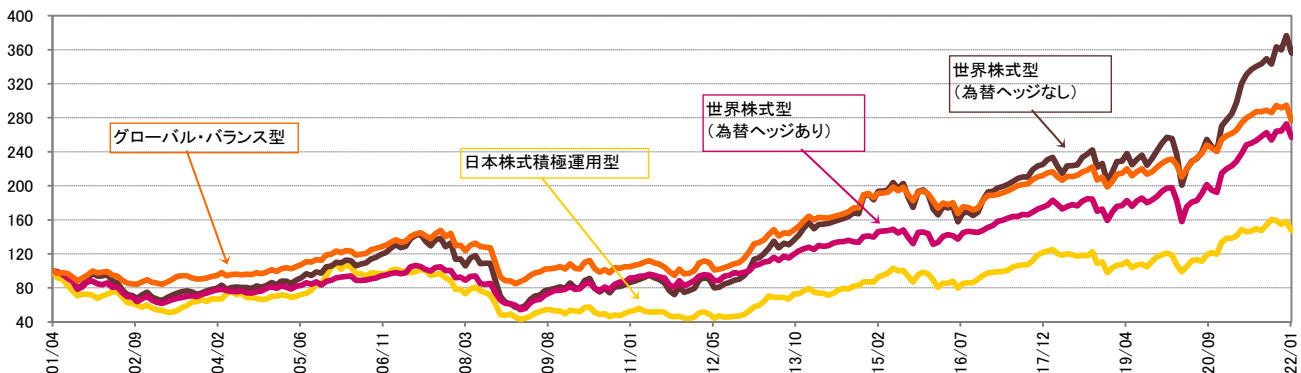
・1986年12月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(日本株式型/米国株式型/金融市場型)



・1999年4月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(欧州株式型/世界債券型)



・2001年5月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(日本株式積極運用型/世界株式型(為替ヘッジなし)/世界株式型(為替ヘッジあり)/グローバル・バランス型)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

・特別勘定資産の内訳

■日本株式型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	1,356,367	4.6
投資信託	Selection Japan Equity Class I	22,643,122	76.7
	HIC日本株バリュー・マルチマネージャーフアンド(適格機関投資家専用)	5,526,218	18.7
合計		29,525,706	100.0

p7上段

p7下段

■日本株式積極運用型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	142,663	4.5
投資信託	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用)	1,220,749	38.2
	ヒクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド(適格機関投資家専用)	1,835,996	57.4
合計		3,199,408	100.0

p8上段

p8下段

■米国株式型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	1,479,883	4.7
投資信託	SELECTION US EQUITY Class I	30,275,921	95.3
合計		31,755,804	100.0

p9上段

■欧州株式型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	248,923	4.7
投資信託	RICII Russell Investments Pan European Equity Fund Class B	1,040,897	19.6
	フィデリティ・欧州株・ファンド	4,029,708	75.8
合計		5,319,528	100.0

p9下段

p10上段

■世界株式型(為替ヘッジなし)

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	233,410	4.7
投資信託	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)	3,813,766	76.4
	インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)	944,564	18.9
合計		4,991,740	100.0

p10下段

p11上段

■世界株式型(為替ヘッジあり)

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	74,698	4.6
投資信託	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	925,177	57.5
	インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)	609,536	37.9
合計		1,609,411	100.0

p11下段

p12上段

■世界債券型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	474,265	4.8
投資信託	RIC Russell Investments Global Bond Fund Class A	3,406,179	34.7
	グローバル・ボンド・ファンドVA<適格機関投資家専用>	1,865,595	19.0
	ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1(適格機関投資家限定)	4,082,819	41.5
合計		9,828,857	100.0

p13上段

p13下段

p14下段

■金融市場型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	355,604	5.7
投資信託	フィデリティ・マネー・プールVA(適格機関投資家専用)	5,932,530	94.3
合計		6,288,134	100.0

p15上段

■グローバル・バランス型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	1,741,762	4.6
投資信託	Architas Global Equity Fund Class I	17,446,221	45.8
	Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J	15,505,677	40.7
	グローバル・ボンド・ファンドVA<適格機関投資家専用>	3,423,996	9.0
合計		38,117,657	100.0

p12下段

p14上段

p13下段

(注)「p7上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

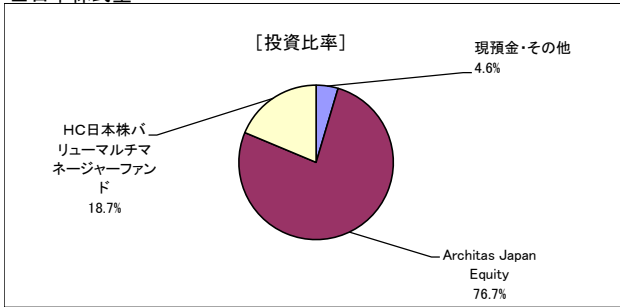
『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

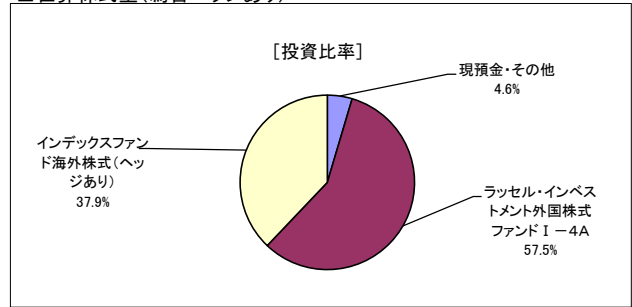
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

・特別勘定資産の内訳(グラフ)

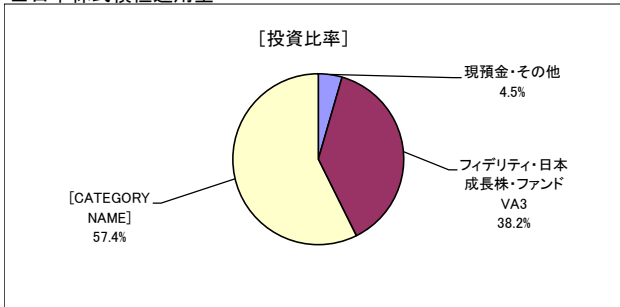
■日本株式型



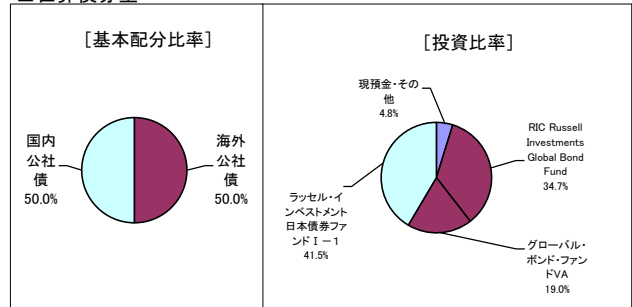
■世界株式型(為替ヘッジあり)



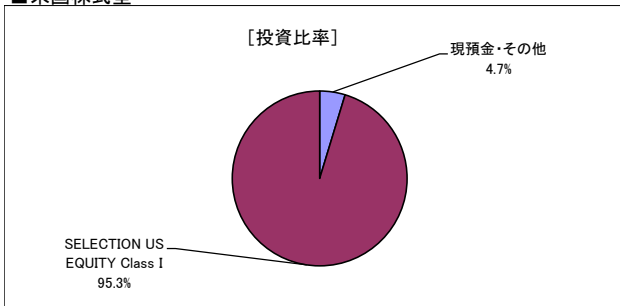
■日本株式積極運用型



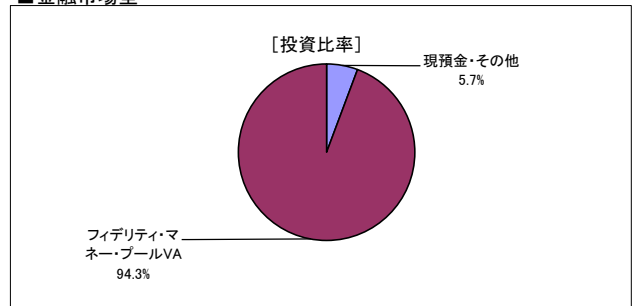
■世界債券型



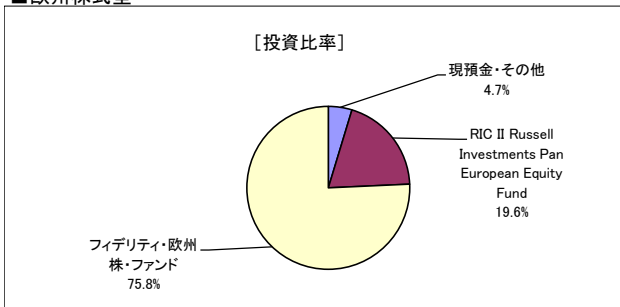
■米国株式型



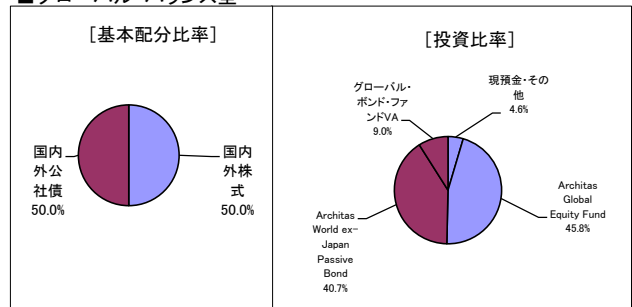
■金融市場型



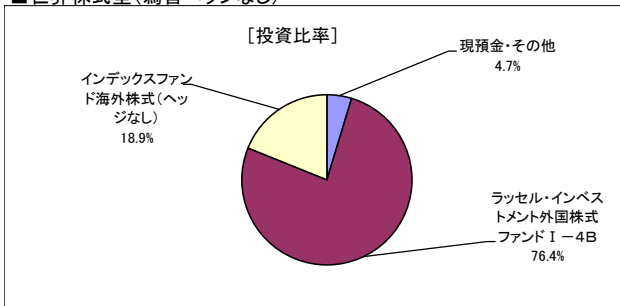
■欧州株式型



■グローバル・バランス型



■世界株式型(為替ヘッジなし)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』
 ■将来の投資成果を保証するものではありません。
 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

4.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

Selection Japan Equity Class I

Architas Multi-Manager Europe Limited

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆当ファンドは、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。
◆当ファンドは、その純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。

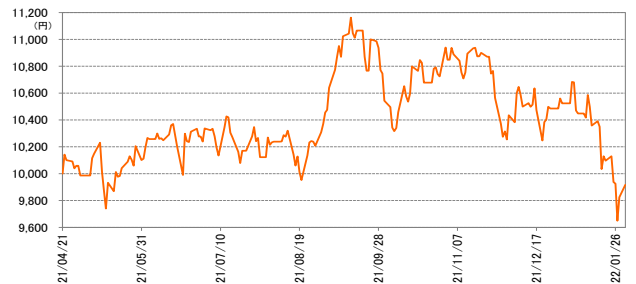
ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)

	ファンド
過去1ヶ月	△5.76%
過去3ヶ月	△7.53%
過去6ヶ月	△2.03%
過去1年	-
過去3年	-
設定来	△0.83%

基準価額の推移 [設定日:2021年4月21日]

(2022年1月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況

(2022年1月末現在)

■組入上位5業種

業種	比率
Industrials	22.69%
Consumer Discretionary	19.85%
Financials	13.38%
Information Technology	12.23%
Materials	7.73%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	比率
TOYOTA MOTOR CORP	3.82%
ORIX CORP	3.52%
SONY GROUP CORP	2.94%
SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR	2.93%
SHIN ETSU CHEMICAL CO LTD	2.80%
TOKIO MARINE HOLDINGS INC	2.71%
KDDI CORP	2.58%
FANUC CORP	2.30%
RECRUIT HOLDINGS CO LTD	2.05%
SOFTBANK CORP	1.58%

(出所)

Architas Multi-Manager Europe Limited

HC日本株バリューマルチマネージャーファンド(適格機関投資家専用)

HCアセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆主としてファンドへの投資を通じて日本株式に投資し、預かり資産の中長期的な成長をめざして運用を行うことを基本とします。
◆ファンドオブファンズ方式で運用を行い、運用成果の向上をめざし、ファンドの変更(追加、削除、入替)を必要に応じ行います。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)

	ファンド
過去1ヶ月	△10.00%
過去3ヶ月	△12.35%
過去6ヶ月	△8.42%
過去1年	△5.20%
過去3年	-
設定来	11.55%

基準価額の推移 [設定日:2019年11月8日]

(2022年1月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況

(2022年1月末現在)

組入上位5業種	組入比率
コムジエスト日本株式ファンド	46.1%

■組入上位5業種

業種	比率
資本財・サービス	21.8%
一般消費財・サービス	20.5%
情報技術	14.5%
ヘルスケア	10.2%
生活必需品	9.1%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
オリックス	3.9%
第一生命ホールディングス	3.8%
ダイキン工業	3.7%
ファナック	3.6%
村田製作所	3.5%

組入上位5業種	組入比率
りそな国内株式リサーチαファンド	54.0%

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	18.7%
化学	10.9%
小売業	8.9%
機械	8.5%
情報・通信業	7.8%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
味の素	2.5%
ダイセキ	2.3%
東亜合成	2.3%
アース製薬	2.3%
カシオ計算機	2.3%

(出所)

HCアセットマネジメント株式会社

ご注意

※組入上位5業種並びに株式組入上位5銘柄の比率は、各ファンドのマザーファンドでの対純資産比率です。

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△10.42%	△4.83%
過去3ヶ月	△11.35%	△5.10%
過去6ヶ月	△2.85%	0.73%
過去1年	0.99%	7.05%
過去3年	48.93%	29.72%
設定来	204.97%	159.54%

基準価額の推移 [設定日:2001年11月29日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率

(2021年12月末現在)	
市場	比率
東証一部	96.5%
東証二部	0.4%
JASDAQ	0.4%
その他市場	0.9%

■組入上位5業種

(2021年12月末現在)	
業種	比率
電気機器	23.5%
情報・通信業	11.1%
機械	9.3%
化学	8.5%
卸売業	7.7%

■株式組入上位10銘柄

(2021年12月末現在)		
銘柄	業種	比率
ソニーグループ	電気機器	5.9%
キーエンス	電気機器	4.9%
ミズグループ本社	卸売業	4.8%
リクルートホールディングス	サービス業	3.1%
オリンパス	精密機器	2.9%
Zホールディングス	情報・通信業	2.6%
東京海上ホールディングス	保険業	2.4%
三浦工業	機械	2.3%
SMC	機械	2.2%
マキタ	機械	2.1%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)
フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含む)に上場されている株式に投資を行います。
- ◆組入銘柄の選択にあたっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者、利益成長の源泉が明確な企業に焦点を当て、企業訪問を重ね丹念に調査し、徹底した銘柄選択で運用します。
- ◆特定の株価指数(東証株価指数、日経平均株価など)にとらわれず運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	△5.43%
過去3ヶ月	△5.75%
過去6ヶ月	1.53%
過去1年	10.52%
過去3年	39.23%
設定来	173.44%

基準価額の推移 [設定日:2002年5月30日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2022年1月末現在)

■市場別上位組入比率

市場	比率
東証一部	99.2%
---	---
---	---
---	---
---	---

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	22.9%
輸送用機器	9.7%
機械	9.2%
銀行業	7.5%
情報・通信業	6.9%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
トヨタ自動車	輸送用機器	4.9%
ソニーグループ	電気機器	3.2%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.6%
日立製作所	電気機器	2.6%
オリックス	その他金融業	2.3%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.3%
信越化学工業	化学	2.3%
デンソー	輸送用機器	2.3%
日本電信電話	情報・通信業	2.1%
積水化学工業	化学	2.0%

※組入比率は実質比率(マザーファンドの組入比率×マザーファンドにおける当該資産の組入比率)です。

(出所)
ピクテ投信投資顧問株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

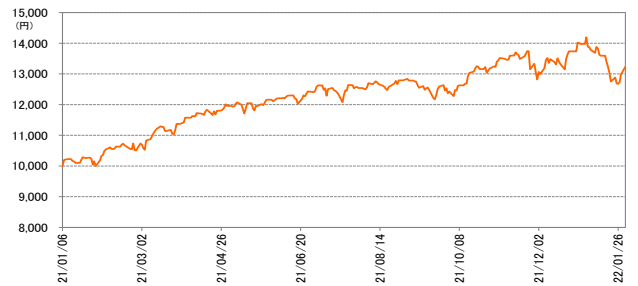
ファンドの特色等

◆当ファンドは、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。
 ◆当ファンドは、その純資産価額の3分の2以上を、米国を本拠地とする、または米国の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。

ファンドの騰落状況

ファンドの騰落状況 (2022年1月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	△5.31%
過去3ヶ月	0.44%
過去6ヶ月	5.53%
過去1年	32.34%
過去3年	-
設定来	32.33%

基準価額の推移 [設定日:2021年1月6日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

ポートフォリオの状況

(2022年1月末現在)

■組入上位5業種

業種	比率
Information Technology	26.87%
Communication Services	15.41%
Consumer Discretionary	12.65%
Health Care	12.27%
Financials	11.97%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	比率
MICROSOFT CORP	5.11%
Alphabet Inc	5.07%
AMAZON.COM INC	3.19%
FACEBOOK INC	2.50%
APPLE INC	2.42%
Berkshire Hathaway Inc. B	2.32%
Costco Wholesale Corp	1.92%
Qualcomm	1.78%
Liberty Broadband Corp	1.77%
VISA INC	1.40%

(出所)

Architas Multi-Manager Europe Limited

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI Europe Index)を上回ることを目標として運用を行います。
 ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。
 ◆当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ投資信託です。

ファンドの騰落状況

ファンドの騰落状況 (2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△3.29%	△3.20%
過去3ヶ月	△1.03%	△0.40%
過去6ヶ月	2.18%	3.09%
過去1年	22.66%	22.04%
過去3年	38.92%	39.01%
設定来	100.56%	125.50%

基準価額の推移 [設定日:2000年11月14日]



※騰落状況はユーロベースで計算しており、基準価額の推移もユーロベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄

(2021年12月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	2.2%
ASML Holding NV	オランダ	情報技術	2.2%
Novo Nordisk A/S Class B	デンマーク	ヘルスケア	1.8%
Sanofi SA	フランス	ヘルスケア	1.2%
Stellantis NV	オランダ	一般消費財・サービス	1.2%
A.P. Moller - Maersk A/S Class B	デンマーク	資本財・サービス	1.2%
Novartis AG	スイス	ヘルスケア	1.1%
Nestle SA	スイス	生活必需品	1.1%
Rexel SA	フランス	資本財・サービス	1.1%
AstraZeneca plc	イギリス	ヘルスケア	1.1%

■外部委託会社

(2022年1月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Invesco	マーケット・オリエンテッド型	15.0%
Liontrust	マーケット・オリエンテッド型	15.0%
Numeric	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
Pzena	ハリー型	15.0%
Russell Investments	ポジション戦略型	15.0%
Berenberg	グロース型	15.0%

(出所)

Russell Investments Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆英国および欧州大陸の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの欧州および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆MSCIヨーロッパ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)をベンチマークとします。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△9.56%	△4.33%
過去3ヶ月	△10.36%	△2.47%
過去6ヶ月	△6.89%	2.47%
過去1年	8.05%	24.65%
過去3年	51.50%	46.30%
設定来	274.30%	184.40%

基準価額の推移 [設定日:1998年4月1日] (2022年1月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■組入上位5カ国・地域

(2021年12月末現在)

国・地域	比率
イギリス	21.8%
ドイツ	20.0%
オランダ	10.6%
フランス	10.2%
スイス	7.8%

■組入上位5業種

(2021年12月末現在)

業種	比率
資本財・サービス	27.0%
情報技術	22.2%
ヘルスケア	20.0%
一般消費財・サービス	12.1%
生活必需品	3.9%

■株式組入上位10銘柄

(2021年12月末現在)

銘柄	国・地域	業種	比率
ノル・ルテイスク	デンマーク	ヘルスケア	5.6%
SAP	ドイツ	情報技術	5.2%
インフィニオン・テクノロジーズ	ドイツ	情報技術	4.6%
フロサス	オランダ	一般消費財・サービス	4.5%
メルク	ドイツ	ヘルスケア	3.9%
レックス	イギリス	資本財・サービス	3.8%
エクスペリアン	ジョージア	資本財・サービス	3.5%
ソバ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	2.6%
レントキル・インシャル	イギリス	資本財・サービス	2.4%
ワルトライ	フランス	情報技術	2.2%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)
フィデリティ投信株式会社

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュウ型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△5.32%	△5.23%
過去3ヶ月	△1.66%	△2.15%
過去6ヶ月	4.07%	5.73%
過去1年	26.64%	30.56%
過去3年	68.45%	73.56%
設定来	434.57%	467.31%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日] (2022年1月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2022年1月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	70.8%
ユーロ地域	9.8%
ユーロ除く欧州	11.3%
その他	8.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Microsoft Corp.	USD	2.9%
TAIWAN SEMICONDUCTOR	USD	2.2%
Roche Holding AG	CHF	1.7%
MasterCard Inc.	USD	1.7%
Apple Inc.	USD	1.6%
Meta Platforms, Inc. Class A	USD	1.5%
ALPHABET INC-CL A	USD	1.4%
UnitedHealth Group, Inc.	USD	1.4%
ALPHABET INC-CL C	USD	1.3%
Johnson & Johnson	USD	1.2%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
フィエラ[投資助言]*	グロース型	14.5%
モルガン・スタンレー[投資助言]*	グロース型	14.5%
サンダース[投資助言]*	バリュウ型	17.0%
ブジーナ[投資助言]*	バリュウ型	17.0%
ニューメリック[投資助言]*	マーケット・オリエンテッド型	16.0%
RIIS	ポートフォリオ特性補強型	21.0%

- ①比率は株式評価額合計に占める割合
- ②数%程度のキャッシュ・エクイタイズーション(流動資金の株式化)部分等を除きます。
- *当該運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インフラメンテーション・サービス・エル・エル・シー(RIIS)が運用の指図を行います。

(出所)
ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△7.07%	△7.07%
過去3ヶ月	△3.77%	△3.88%
過去6ヶ月	3.17%	2.85%
過去1年	25.18%	24.16%
過去3年	66.44%	61.33%
設定来	296.97%	214.54%

基準価額の推移 [設定日:2001年10月17日] (2022年1月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2022年1月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	71.00%
イギリス	4.38%
カナダ	3.64%
スイス	3.33%
フランス	3.20%
ドイツ	2.63%
オーストラリア	1.92%
アイルランド	1.86%
オランダ	1.77%
スウェーデン	1.02%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE INC	アメリカ	5.10%
MICROSOFT CORP	アメリカ	3.99%
AMAZON.COM INC	アメリカ	2.38%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	1.45%
ALPHABET INC-CL C	アメリカ	1.39%
META PLATFORMS INC	アメリカ	1.30%
TESLA INC	アメリカ	1.29%
NVIDIA CORP	アメリカ	1.03%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.82%
UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	0.80%

(出所)
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み、円ヘッジ・円ベース)を上回ることを目標として運用を行います。
◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
◆原則として為替ヘッジを行います。
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△5.33%	△4.91%
過去3ヶ月	△2.14%	△2.35%
過去6ヶ月	△0.00%	1.87%
過去1年	16.50%	20.41%
過去3年	55.09%	60.56%
設定来	276.49%	336.79%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日] (2022年1月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2022年1月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	70.8%
ユーロ地域	9.8%
ユーロ除く欧州	11.3%
その他	8.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Microsoft Corp.	USD	2.9%
TAIWAN SEMICONDUCTOR	USD	2.2%
Roche Holding AG	CHF	1.7%
MasterCard Inc.	USD	1.7%
Apple Inc.	USD	1.6%
Meta Platforms, Inc. Class A	USD	1.5%
ALPHABET INC-CL A	USD	1.4%
UnitedHealth Group, Inc.	USD	1.4%
ALPHABET INC-CL C	USD	1.3%
Johnson & Johnson	USD	1.2%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
フィエラ[投資助言]*	グロース型	14.5%
モルガン・スタンレー[投資助言]*	グロース型	14.5%
サンダーズ[投資助言]*	バリュー型	17.0%
ブジーナ[投資助言]*	バリュー型	17.0%
ニューメリック[投資助言]*	マーケット・オリエンテッド型	16.0%
RIIS	ポートフォリオ特性補強型	21.0%

①比率は株式評価額合計に占める割合
②数%程度のキャッシュ・エクイティ(流動資金の株式化)部分等を除きます。
*当該運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インフラストラクチャー・サービス・エル・エル・シー(RIIS)が運用の指図を行います。

(出所)
ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
 ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジあり)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△6.99%	△7.05%
過去3ヶ月	△4.12%	△4.31%
過去6ヶ月	△0.90%	△1.16%
過去1年	14.82%	14.11%
過去3年	53.68%	48.96%
設定来	194.00%	136.33%

基準価額の推移 [設定日:2001年10月17日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2022年1月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	71.52%
イギリス	4.18%
カナダ	3.49%
スイス	3.20%
フランス	3.03%
ドイツ	2.53%
オーストラリア	1.84%
アイルランド	1.76%
オランダ	1.72%
スウェーデン	0.98%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE INC	アメリカ	4.87%
MICROSOFT CORP	アメリカ	3.81%
AMAZON.COM INC	アメリカ	2.27%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	1.38%
ALPHABET INC-CL C	アメリカ	1.33%
META PLATFORMS INC	アメリカ	1.25%
TESLA INC	アメリカ	1.24%
NVIDIA CORP	アメリカ	0.99%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.78%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.77%

(出所)
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

Architas Global Equity Fund Class I

Architas Multi-Manager Europe Limited

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

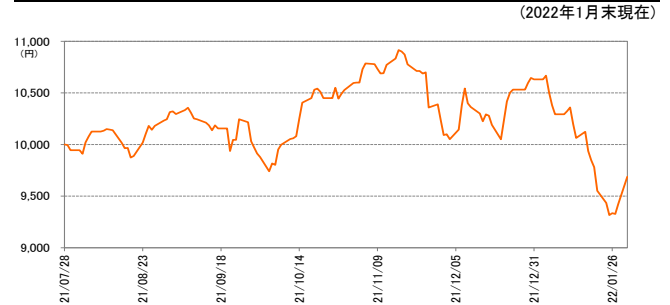
ファンドの特色等

◆当ファンドは、積極的な分散投資の株式ポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。
 ◆当ファンドは、幅広いリサーチおよび市場洞察力を活用し、証券選択および資産配分を通じてアウトパフォーマンスの機会を追求することにより、その目的を達成することを目指します。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	△8.86%
過去3ヶ月	△7.97%
過去6ヶ月	△2.58%
過去1年	-
過去3年	-
設定来	△3.12%

基準価額の推移 [設定日:2021年7月28日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (2022年1月末現在)

■組入上位5業種

業種	比率
Information Technology	21.86%
Consumer Discretionary	16.40%
Communication Services	14.36%
Industrials	12.21%
Health Care	11.05%

■組入上位5カ国

国	比率
UNITED STATES	62.44%
JAPAN	5.82%
BRITAIN	4.17%
FRANCE	4.05%
SWITZERLAND	3.53%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	比率
ALPHABET INC-CL C	4.17%
AMAZON.COM INC	3.87%
META PLATFORMS INC-CLASS A	2.65%
MASTERCARD INC - A	1.64%
BLACKSTONE INC	1.59%
SALESFORCE.COM INC	1.42%
AMERICAN EXPRESS CO	1.30%
MICROSOFT CORP	1.24%
ASTRAZENECA PLC	1.13%
INTUITIVE SURGICAL INC	1.10%

(出所)
Architas Multi-Manager Europe Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

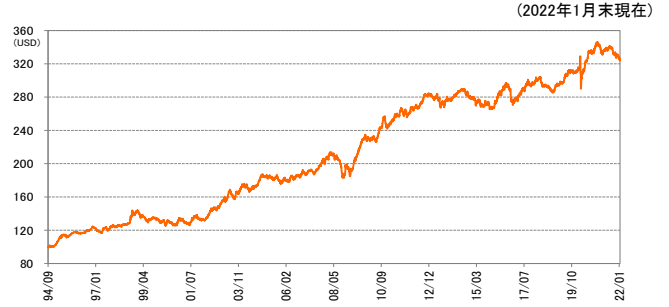
ファンドの特色等

- ◆世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマーク(Bloomberg Global Aggregate)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△1.79%	△2.05%
過去3ヶ月	△2.02%	△2.47%
過去6ヶ月	△4.83%	△4.83%
過去1年	△5.43%	△5.83%
過去3年	9.22%	7.26%
設定来	224.04%	223.81%

基準価額の推移 [設定日:1994年9月30日]



※騰落状況は米ドルベースで計算しており、基準価額の推移も米ドルベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■セクター別構成比 (BM対比)

(2021年12月末現在)	
セクター	比率
国債・現金	△13.6%
エマーシング債(現地通貨)	△8.2%
社債	△7.2%
政府保証債	△5.1%
証券化商品	△0.4%
ローン	0.1%
エマーシング債(国際通貨)	5.4%
その他	29.0%

■格付け別構成比 (BM対比)

(2021年12月末現在)	
格付け	比率
AAA・現金	15.1%
AA	△8.0%
A	△10.9%
BBB	△1.9%
その他	5.7%

■外部委託会社

(2022年1月末現在)		
運用会社	運用スタイル	目標配分
BlueBay	金利・一般債重視型	26.0%
Schroder	セクター(資産担保証券)特化型	13.0%
Western	セクター(クレジット)特化型	28.0%
Russell Investments	ホリゾンタル戦略(通貨・金利型)	33.0%

(出所)
Russell Investments Limited

グローバル・ボンド・ファンドVA<適格機関投資家専用>

アバディーン・ジャパン株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
- ◆FTSE世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△1.36%	△1.80%
過去3ヶ月	△1.42%	△1.76%
過去6ヶ月	△0.29%	△1.22%
過去1年	1.41%	1.53%
過去3年	9.93%	10.87%
設定来	70.99%	97.37%

基準価額の推移 [設定日:2002年8月1日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況

(2022年1月末現在)

■国別構成比率上位5カ国

国名	比率
アメリカ	26.95%
日本	13.55%
イタリヤ	7.95%
フランス	7.70%
ドイツ	5.99%

■通貨別構成比率上位5通貨

通貨	比率
ユーロ	40.94%
米ドル	26.95%
日本円	13.55%
メキシコペソ	3.66%
英ポンド	3.43%

■債券組入上位10銘柄

銘柄	通貨	償還日	クーポン	格付け	比率
アメリカ国債	USD	2025/4/30	0.375	AAA	11.67%
アメリカ国債	USD	2022/2/28	1.125	AAA	4.33%
日本国債	JPY	2025/6/20	2.100	A+	3.61%
アメリカ国債	USD	2041/8/15	1.750	AAA	3.30%
フランス国債	EUR	2023/3/25	0.000	AA	3.10%
アメリカ国債	USD	2050/5/15	1.250	AAA	3.07%
オーストラリア国債	AUD	2027/11/21	2.750	AAA	2.75%
日本国債	JPY	2027/3/20	2.100	A+	2.60%
ベルギー国債	EUR	2022/3/28	4.000	AA	2.40%
メキシコ国債	MXN	2031/5/29	7.750	A	2.34%

※各比率は、投信の純資産総額に対する比率です。

(出所)
アバディーン・ジャパン株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

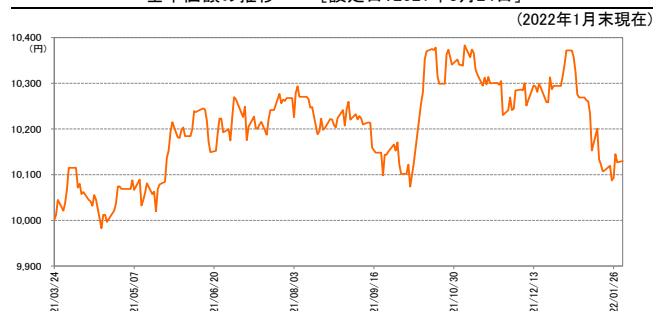
ファンドの特色等

- ◆元本およびインカム収入の両方を考慮したトータルリターン(報酬および費用控除前)を投資家に提供することを目指します。
- ◆ベンチマークはFTSE 世界国債インデックス(除く日本)で、ベンチマークに連動した運用成果を目指します。
- ◆純資産価額の100%を上限として、日本を除く世界各国が発行する国債(政府機関債・地方債含む)に投資します。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△2.33%	△2.26%
過去3ヶ月	△2.04%	△1.91%
過去6ヶ月	△1.34%	△1.14%
過去1年	-	-
過去3年	-	-
設定来	1.30%	1.67%

基準価額の推移 [設定日:2021年3月24日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (2022年1月末現在)

■組入上位5カ国

国	比率
UNITED STATES	47.69%
FRANCE	9.84%
ITALY	8.77%
GERMANY	7.23%
BRITAIN	5.78%

■格付け別構成比

格付け	比率
AAA	55.87%
AA	15.27%
A	1.53%
BBB	11.84%
BB or Lower	0.00%
Not Rated	15.35%

(出所)

Architas Multi-Manager Europe Limited

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1 (適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△0.67%	△0.72%
過去3ヶ月	△0.63%	△0.69%
過去6ヶ月	△1.19%	△1.22%
過去1年	△0.66%	△0.57%
過去3年	△0.83%	△0.40%
設定来	26.08%	31.13%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2022年1月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	61.1%
地方債	18.6%
政保債	2.1%
金融債	0.0%
事業債	10.9%
円建外債	3.7%
MBS	2.6%
ABS	0.0%
その他	0.9%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
アセットマネジメントOne	広範囲型	50%
ウエスタン	広範囲型	50%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)

ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

ファンドの特色等

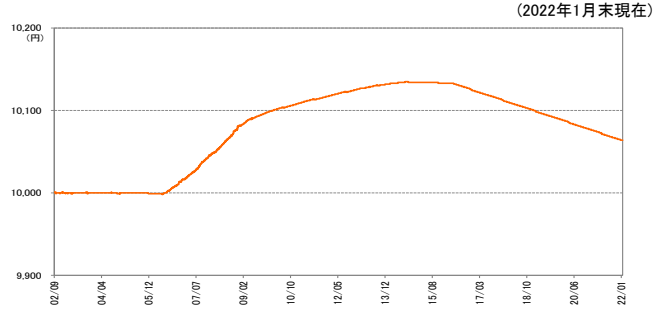
- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2022年1月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	△0.01%
過去3ヶ月	△0.02%
過去6ヶ月	△0.05%
過去1年	△0.12%
過去3年	△0.36%
設定来	0.64%

基準価額の推移

[設定日: 2002年9月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール

(2021年12月末現在)

平均残存日数	-
平均残存年数	-

■格付別構成比

(2021年12月末現在)

格付別構成比		
格付	比率	
長期債券格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	-
短期債券格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		100.0%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄

(2021年12月末現在)

銘柄	格付	比率
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

(出所)
フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』
 ■将来の投資成果を保証するものではありません。
 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

5. 投資している投資信託の運用会社のご紹介

アバディーン・ジャパン株式会社

アバディーンは資産運用ビジネスは綿密な企業調査と、グローバルに展開する幅広い調査網を礎としています。また、各資産クラスや運用手法、戦略を横断的に検討し、お客様のニーズに沿った、最先端の運用ソリューションをご提供すると共に、より持続可能な投資成果の実現を目指します。現在、アバディーンでは世界30か所の拠点で約800名を超える運用プロフェッショナルが個人投資家、中央銀行や政府系ファンド、企業年金、保険会社、事業法人、各種慈善団体や財団法人などの資金を運用しており、運用資産総額は約4,653億ポンドにのぼります。(2021年6月30日現在)。

HCアセットマネジメント株式会社

HCアセットマネジメント株式会社はプロフェッショナルな投資家の皆様へ向け、投資機会の調査、資産・戦略の選択、運用会社・ファンドの選定を行い、ポートフォリオ管理のプラットフォームを提供して参りました。大手自動車メーカー、総合商社等の企業年金が顧客の7割を占めているほか、生命保険会社、信用金庫等の金融機関、大学からも資産運用を受託しており、資産運用に関する高度な要求水準を有するプロフェッショナル投資家の方々から、創業来高い評価を獲得しています。11月には初の公募投信開始しております。

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント株式会社は、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用やETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。60年を超える実績を誇り、約25の国・地域から集まる人材を世界11か国・地域に擁し、事業を展開しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。

フィデリティ投信株式会社

委託会社であるフィデリティ投信株式会社は、独立系資産運用グループのフィデリティ・インターナショナルの一角です。フィデリティ・インターナショナルは、世界で250万以上のお客さまに投資に関するソリューション・サービス、退職関連の専門的知見を提供しています。

ラッセル・インベストメント・グループ

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者のみなさまを対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っております。当グループの創立は1936年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とします。

Architas Multi-Manager Europe Limited

Architas Multi-Manager Europe Limitedは、AXA S.A.の完全子会社であるArchitas Limitedの完全子会社です。アクサは1817年にフランスで生まれ、世界54の国と地域、約1億500万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。

ピクテ投信投資顧問株式会社

ピクテは、スイス・ジュネーブに1805年に設立されました。ナポレオン戦争をはじめ度重なる戦禍や危機において貴族たちが資産を守るために頼ったのが、ピクテをはじめとするプライベートバンク。210余年の年月を超えて、どんな時も、欧州の王侯貴族をはじめとした顧客の資産を保全し継承することで、信頼を築いてきました。時代の変化に柔軟に対応するための高度な技法も積極的に取り入れ、常に長期の視点で行われるその投資は、持続可能な社会の実現に資する力を秘めています。日本にオフィスを開設して40年。世界の富裕層に向けて絶えず高度化してきた資産運用サービスを、一人でも多くの投資家にお伝えし、豊かな人生の実現に役立てていただくこと、それが、私たちの使命です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/17ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

この資料は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

【お問い合わせ先】